

つくば市公立保育所個別整備計画 (岩崎保育所)

令和4年9月

つくば市こども部こども政策課

目次

1. つくば市公立保育所個別整備計画（岩崎保育所）について ……	1
2. 岩崎保育所の概要 ……	3
3. 新園舎の方針と整備概要 ……	5
4. 整備スケジュール ……	6

1 つくば市公立保育所個別整備計画（岩崎保育所）について

(1) つくば市では、新耐震基準※を満たしていない公立保育所が市内に9か所あり、早期の対応が必要であるため、令和2年(2020年)3月に「つくば市公立保育所の施設改善に関する基本方針」（以下、「基本方針」という）を策定しました。この基本方針では、保育所ごとの施設の状況に応じて施設改善の基本的方向について以下のように決めました。

①新耐震基準適用後に建設された施設

◎基本的方向：長寿命化のための大規模な修繕

②新耐震基準適用前に建設し、新耐震基準を満たしている施設

◎基本的方向：長寿命化のための大規模な修繕及び必要に応じた改修

③新耐震基準適用前に建設し、新耐震基準を満たしていない施設

◎基本的方向：建て替え

(2) 「基本方針」を踏まえて、新耐震基準適用前に建設し、新耐震基準を満たしていない施設（(1)③）の早期対応のために、令和3年(2021年)8月に「つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針」（以下、「整備方針」という）を策定しました。その中で、新耐震基準を満たしていない9つの保育所の施設整備方針について以下のように決めました。

【9つの保育所の施設整備に係る基本的な考え方】

①施設整備の順番は、安全性を最優先に考え、 I_s 値/ I_w 値(建物の耐震性能を表すための指標)の低い順とする。

②将来にわたり持続可能な運営となるよう、エリアが近く統合できる保育所は統合を検討する。

③近隣公立保育所で、保育需要に対応できることを前提として該当施設を休所することも視野に入れる。

④公共施設などの跡地で利活用できる用地がある場合、積極的に活用する。

⑤公立保育所の配置については、つくば市全域の地域のバランスも考慮しながら、整備していく。

⑥速やかに複数の保育園を整備していくため、民間保育園の中でも実績のある社会福祉法人や学校法人による建設・運営を優先して検討する。

⑦9つの保育所の具体的な整備にあたっては、保育所ごとの個別整備計画を作成する。

(3) 上記を踏まえて、岩崎保育所については、築 43 年の木造の保育所であり、lw値 0.34 と新耐震基準を満たさない施設であるため、(1)③建替えにより施設改善を進めていく必要があります。その上で、「整備方針」に基づき公立による運営を行うこととし、その整備・運営方法やスケジュールなどの具体的な計画として「つくば市公立保育所個別整備計画（岩崎保育所）」を策定しました。

※新耐震基準について

昭和 56 年の建築基準法改正で定められたもので、建物の耐震性能を表すための指標で Is 値（鉄骨等）と lw 値（木造建築物）で表す。震度 6～7 程度の大規模地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が低いとされる数値は、Is 値で 0.6 以上、lw 値で 1.0 以上。

2 岩崎保育所の概要



(1) 岩崎保育所の概要

		現行	新園舎（予定）
1	所在地	つくば市下岩崎 2105 番地	つくば市下岩崎 2116 番地
2	敷地・ 延床面積	敷地面積：約 2,646 m ² 延床面積：約 475 m ²	敷地面積：約 4,236 m ² 延床面積：約 1,100 m ²
3	構造	木造 平屋建て	重量鉄骨造 2階建て
4	建築年月日	昭和 54 年 3 月 1 日	令和 6 年 4 月 1 日開所
5	認可定員	60 人	90 人
6	立地条件	つくばエクスプレスみどりの駅から車で約 15 分	
7	周辺の状況	現行所在地、新園舎予定所在地ともに、荃崎第二小に隣接し、近隣には荃崎運動公園やつくば市ふれあいプラザといった公共施設が存在する。	

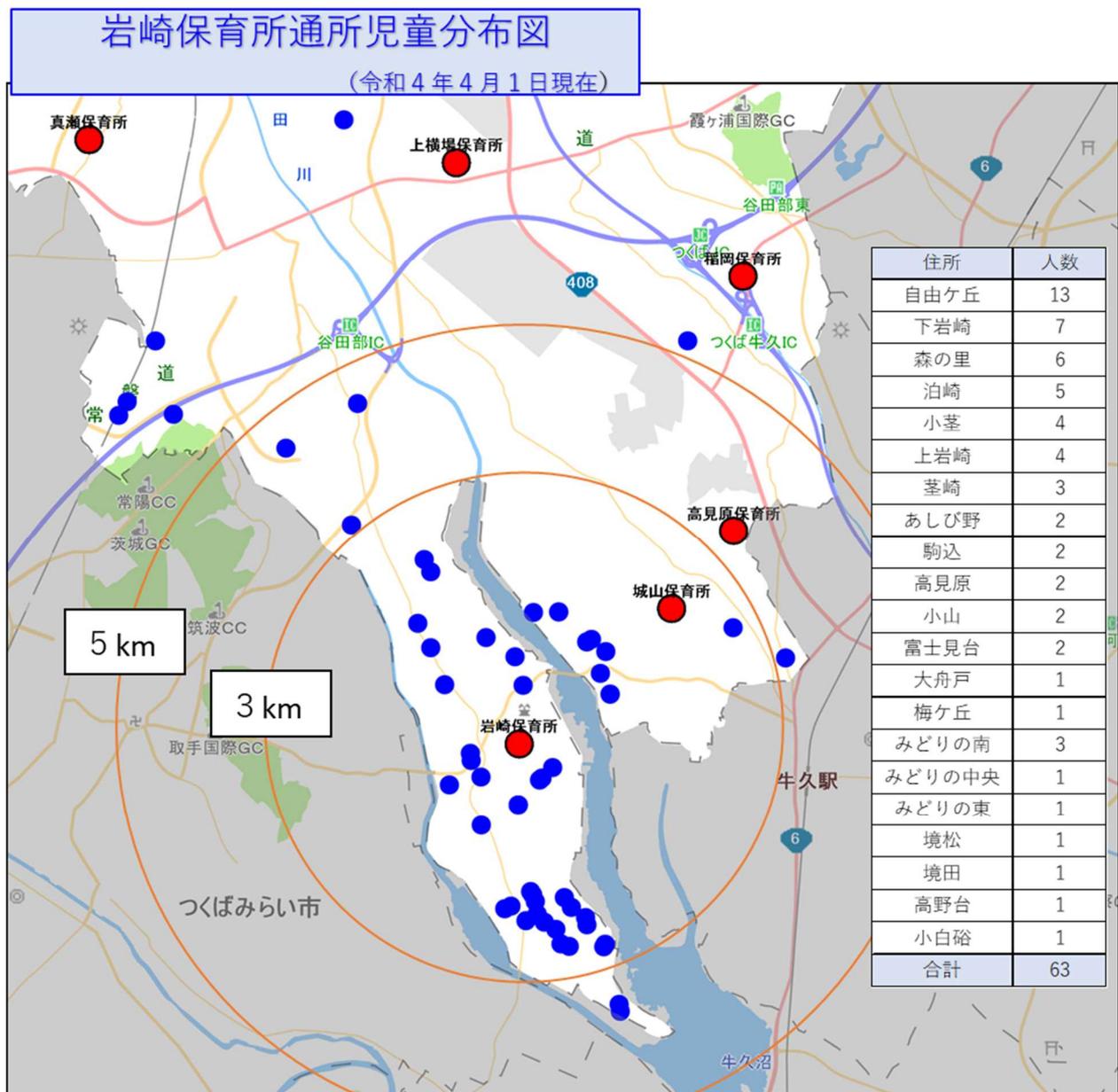
(2) 岩崎保育所の入所児童数の推移（各年 4 月 1 日時点）

単位：人

	H31	R2	R3	R4
0 歳				
1 歳	8	8	7	8
2 歳	12	10	11	12
3 歳	15	14	14	15
4 歳	15	15	14	13
5 歳	15	15	15	15
合計	65	62	61	63

※入所児童が認可定員数を超えているのは、人員と面積を確保した上での弾力運用による。

【参考】岩崎保育所の入所児童等の状況
 岩崎保育所の通所児童分布図（及び居住エリア）



通所児童数及び自宅からの直線距離内訳

令和4年4月1日時点

3km 以内	3km～5km	5km 以上	合計（人）
51	6	6	63
81.0%	9.5%	9.5%	

3 新園舎の方針と整備概要

岩崎保育所（新園舎）は、現行の園舎から岩崎幼稚園跡地へ移転し、保育所の機能拡充および質の向上を図ります。具体的には、0歳児の新規受入れ、認可定員数の拡充、医療的ケア児受入れのためのケアルームの整備などのほか、保護者の就労形態や保育ニーズの多様化に対応した各種サービスの拡充を行い、公立保育所としてつくば市南部の保育の核となる役割を十分に果たすことができる施設にしていきます。

整備概要は以下のとおりです。

(1) 整備後の施設形態

現行のまま、児童福祉法に定める保育所とします。

(2) 建設・運営方法

公設公営による整備とします。

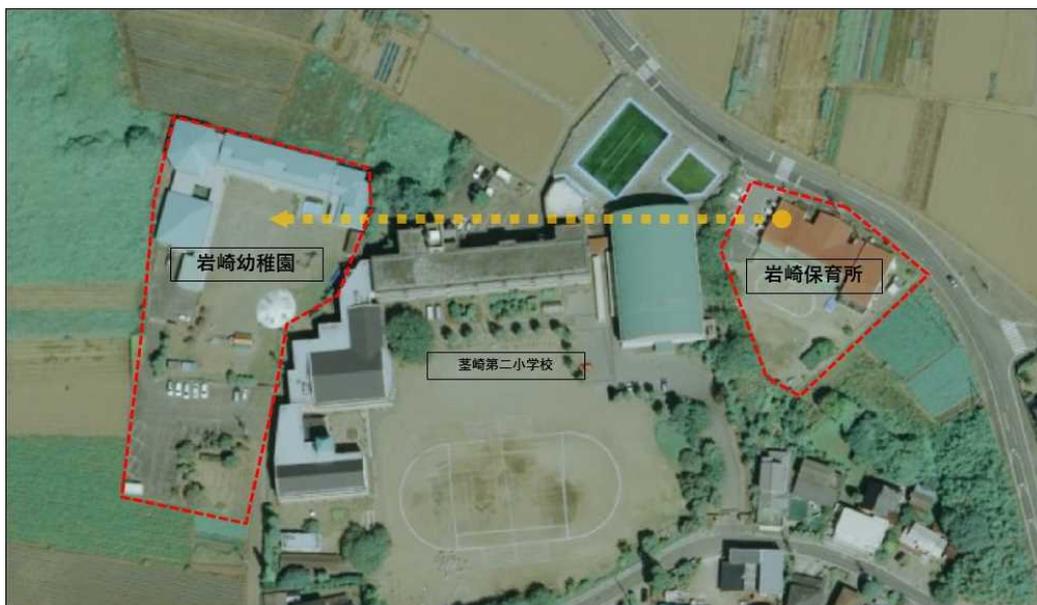
(3) 主な機能の拡充

以下の機能を拡充します。

- ①0歳児の新規受入れ
- ②現行の認可定員「60人」から「90人」へ拡充
- ③医療的ケア児受入れのためのケアルームの整備
- ④太陽光発電等を利用した環境へ配慮した建物の省エネ設計

(4) 建設場所

つくば市下岩崎 2116 番ほか（岩崎幼稚園跡地）



出典：国土地理院「地理院地図 GSI Maps」を加工し作成

(5) 保護者への説明

整備にあたっては、保護者の方に丁寧な説明を行いながら進めていきます。
保護者説明会の実施については以下のとおりです。

- 児童の保護者を対象に、個別整備計画策定時に開催する。
- 保護者に対して十分に情報提供を行う。

	説明会等の開催	説明会等の内容
1	個別整備計画（案） 策定時保護者説明会	▶ 岩崎保育所における整備・運営の進め方やスケジュール等について説明
2	内覧会	▶ 保護者等を対象とした新園舎内覧としての施設案内

4 整備スケジュール

令和4年度	保護者説明会
	個別整備計画（岩崎保育所）の決定
令和5年度	設計・解体・建設 （令和4～5年度）
	内覧会
令和6年度	新園舎での保育開始